

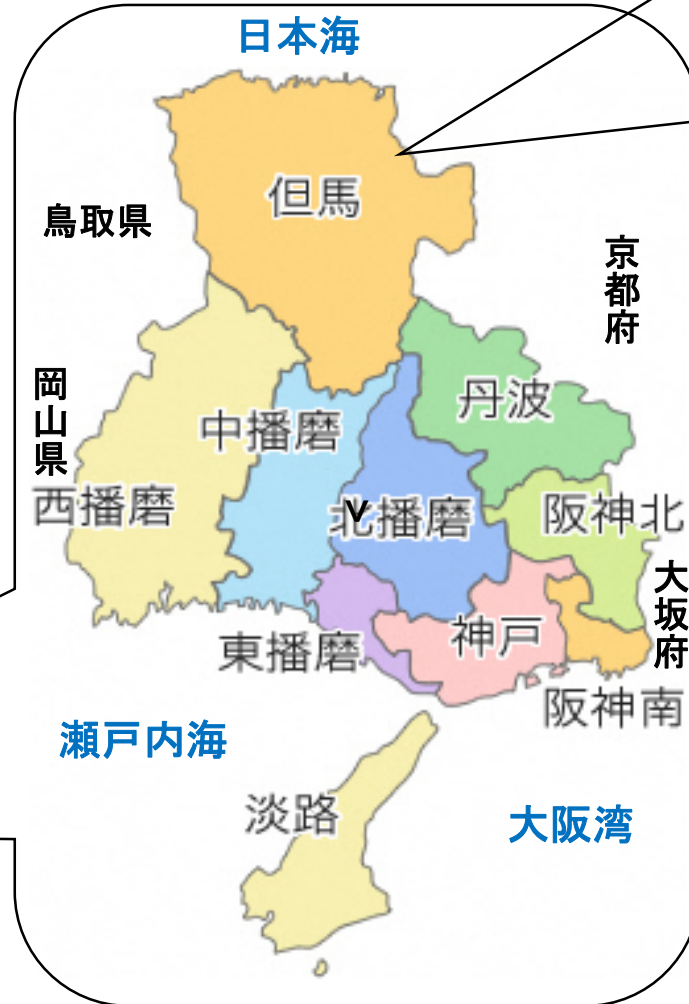
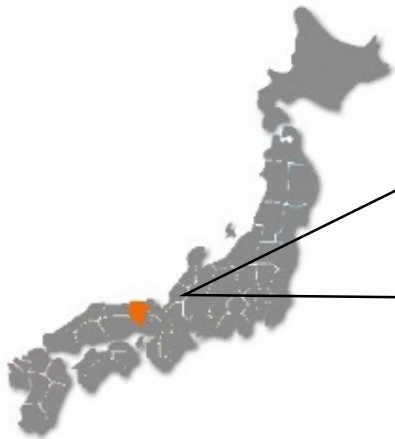
兵庫県豊岡市の行政評価

～事務事業評価から戦略的政策評価へ～

0 兵庫県豊岡市

<平成27年国勢調査>

- 人口82,250人
- 世帯数30,189世帯
- 人口密度117.9人/km²
- 高齢化率31.6%
- 面積697.55km²





1 豊岡市における行政改革と行政評価

行政改革	名称	豊岡市行政改革大綱	第2次豊岡市行政改革大綱	第3次豊岡市行政改革大綱
	期間	2006～2008年度	2009～2013年度	2014～2022年度
	特徴	職員定数減、補助金の削減	職員数数減の継続 負担金の削減 公共施設の統廃合等	職員定数減の停止 成果重視の事務事業の実施 市民との協働

行政評価	名称	事務事業評価		戦略的政策評価
	期間	2008～2010年度	2011～2012年度	2014年度～
	特徴	対象：事務事業 主体：内部及び外部 時点：事後		職員定数減の停止 成果重視の事務事業の実施 市民との協働
	全事務事業	事業限定・ローテーション方式		

2 事務事業評価

	2008事業		2009事業		2010事業		2011事業		2012事業	
全事業数	1,792	—	798	—	777	—	673	—	673	—
一次評価	1,792	100%	798	100%	777	100%	136	20%	138	21%
二次評価	1,792	100%	798	100%	236	30%	56	8%	55	8%
A: 継続	360	20%	202	25%	20	3%	10	1%	15	2%
B: 改善(小)	1,298	72%	556	70%	196	25%	40	6%	37	5%
C: 改善(大)	127	7%	36	5%	19	2%	6	1%	3	0%
D: 休廃止検討	7	0%	4	1%	1	0%	0	0%	0	0%

事業のくり直し

ローテーション方式

2 事務事業評価

<事務事業評価終了理由>

- ① 事務事業単位での廃止・統合・改善は一定程度達成された。
- ② 決算データを活用した事後評価のため即時性が薄い。
- ③ よりよい施策立案や抜本的な政策転換などを生み出すことには適していない。
 - ・その事務事業が施策に貢献しているか？
 - ・もっと効果的な手法はないか？

3 戦略的政策評価

＜導入と実施の特徴＞

- ① 市長等の方針決定と全面的な関与
- ② 専門家の全面的かつ継続的な協力(明治大学 北大路名誉教授ら)
- ③ 評価の目的の明確化(説明よりも実践重視)

平成29年度末時点

	施策分野	所管課
1	自主防災組織の活性化	防災課
2	歩いて暮らすまちづくりの推進	健康増進課
3	豊岡エコバレーの実現	エコバレー推進課
4	大交流の推進	大交流課
5	持続可能な公共交通の推進	都市整備課
6	子育て環境の充実	こども育成課
7	豊岡型環境創造型農業の推進	農林水産課
8	地方創生総合戦略	地方創生課

3 戦略的政策評価

① 市民ワークショップによる協働(参加)型評価



3 戦略的政策評価

② ロジック・モデルを利用したプログラム評価

上位目的： 市民の健康寿命が延びている

戦略目的： 「歩くこと」など体を動かす健康づくりに取り組む人が増加している

指標： 政策モニタリング調査、事業アンケート

手段01 体を動かす健康づくりへの理解が深まっている

指標： 健康行動計画市民アンケート

0101 健康、特に体を動かす健康づくりに関する楽しい情報が提供されている

指標： 行政データ、行動計画市民アンケート

0102 自らの健康状態を把握する人が増えている

指標： 行政データ、行動計画市民アンケート

4 桁手段の具体的な活動等事例
(市民・企業・行政問わず)
(実施・未実施問わず)

市の活動予定 (平成31年度)

【市】市民、【企】企業、【行】行政

【行】地域での集まりの場で、体を動かすことの大切さを伝える
【行】体を動かすことによる効果・成果を周知する
【行】データだけでなく、体を動かしている本人から体を動かす楽しさや成果を発信する

・健康まちづくり施策の科学的検証による成果の公表
・歩いて暮らすまちづくり啓発
・出前講座の実施
・市広報、ホームページ、フェイスブック等による情報発信

【市】毎年健診を受診する
【行】健診等の受診勧奨をする
【企】職場健診を実施し、受診を勧奨する
【市・行】区の集まりで、体組成測定をするなどして、体の変化に気づく

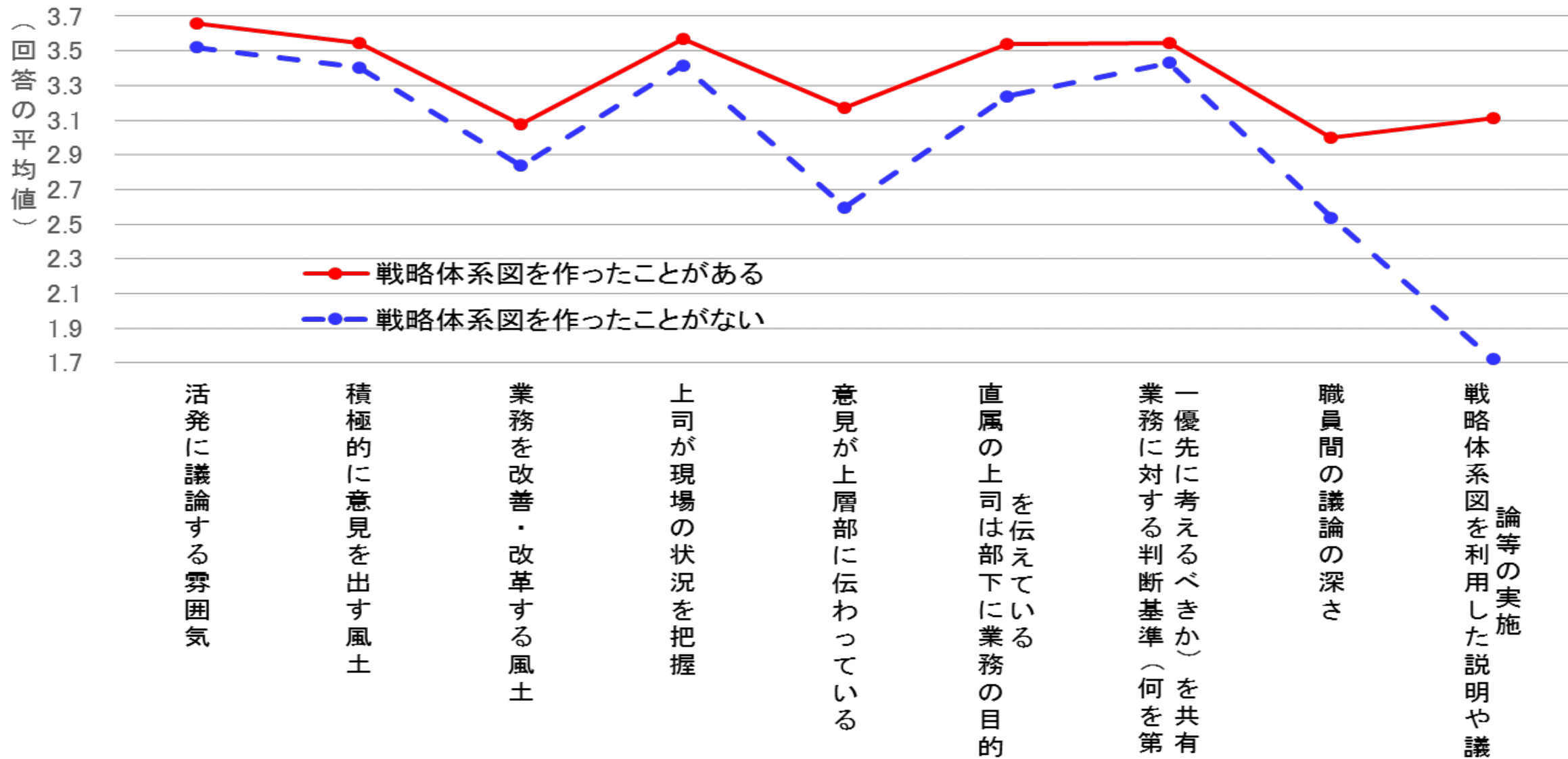
・特定健診・がん検診などの受診勧奨
・献血の推進
・特定保健指導の実施・健診結果相談会の開催
・玄さん元気教室等での血圧・体組成・体力測定
・体力測定・運動相談の実施(ウェルストーク豊岡)

3 戦略的政策評価

<効果>

- ① 成果を志向した事務事業を立案するためのツールとして効果的である。
- ② 市民等の多様な意見を取り入れることが可能である。
- ③ 「戦略的に考える」(目的を明確にした上で、それを達成する手段を論理的に考える)ことを職員に習慣化させることができる。
- ⊕ 自主的にロジック・モデルを作成する部署や、各種計画等に活用する部署も現れており、施策の表現手法としても定着しつつある。

3 戦略的政策評価



3 戦略的政策評価

上位目的

図書館を学びとつながりの場として活用し、豊岡の暮らしを楽しむ人が増えている

戦略目的

図書館を利用したいと思う人が増えている

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもが増えている
～豊岡に軸足を置き、世界規模で物事を考える力を身につけている～

世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや外国の言葉
や文化に興味を持つようとする気持ちの素地などが育まれている

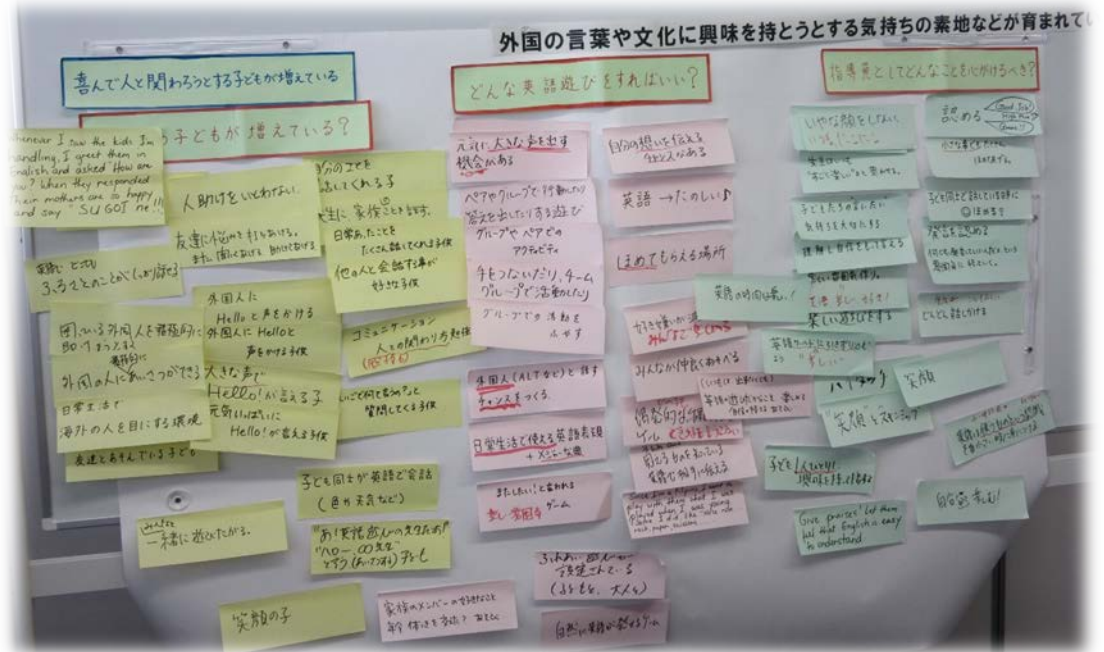
01
読書による学びを支援
している

- 本に親しむ子どもが増えている
読み聞かせ事業・学校区館とのネットワーク化
- 読書する市民が増えている
選書・サピエ利用・レンドレスサービス
- 地域資料を積極的に収集・提供している
郷土資料のデジタル化・像資料の収集
- 図書館司書が専門性を発揮している
出前講座・出張貸出・新しいコミュニティ組織の立ち上げ

- 読書に興味を持つ子どもが増えている
- 喜んで人と関わろうとする子どもが増えている
- 自己肯定感を持った子どもが増えている

02
出会いつながる市民の
居場所となっている

- 市民が活躍できる場となっている
市民活動の支援・活動場の提供
- ボランティア活動が活発になっている
図書館サポーター組織の設立
- 人と社会をつなぐきっかけを支援している
談話スペースの整備・花窓口・デスクマットの設置



3 戦略的政策評価

<課題>

- ① 8分野以外においては行政評価が未実施であること。
- ② 職員の知識、スキルの維持と拡大に時間とお金がかかる。
- ③ 事務事業の整理合理化を目的とした行政評価が存在しない。